

スペシャルオリンピックス フロアボール 理解

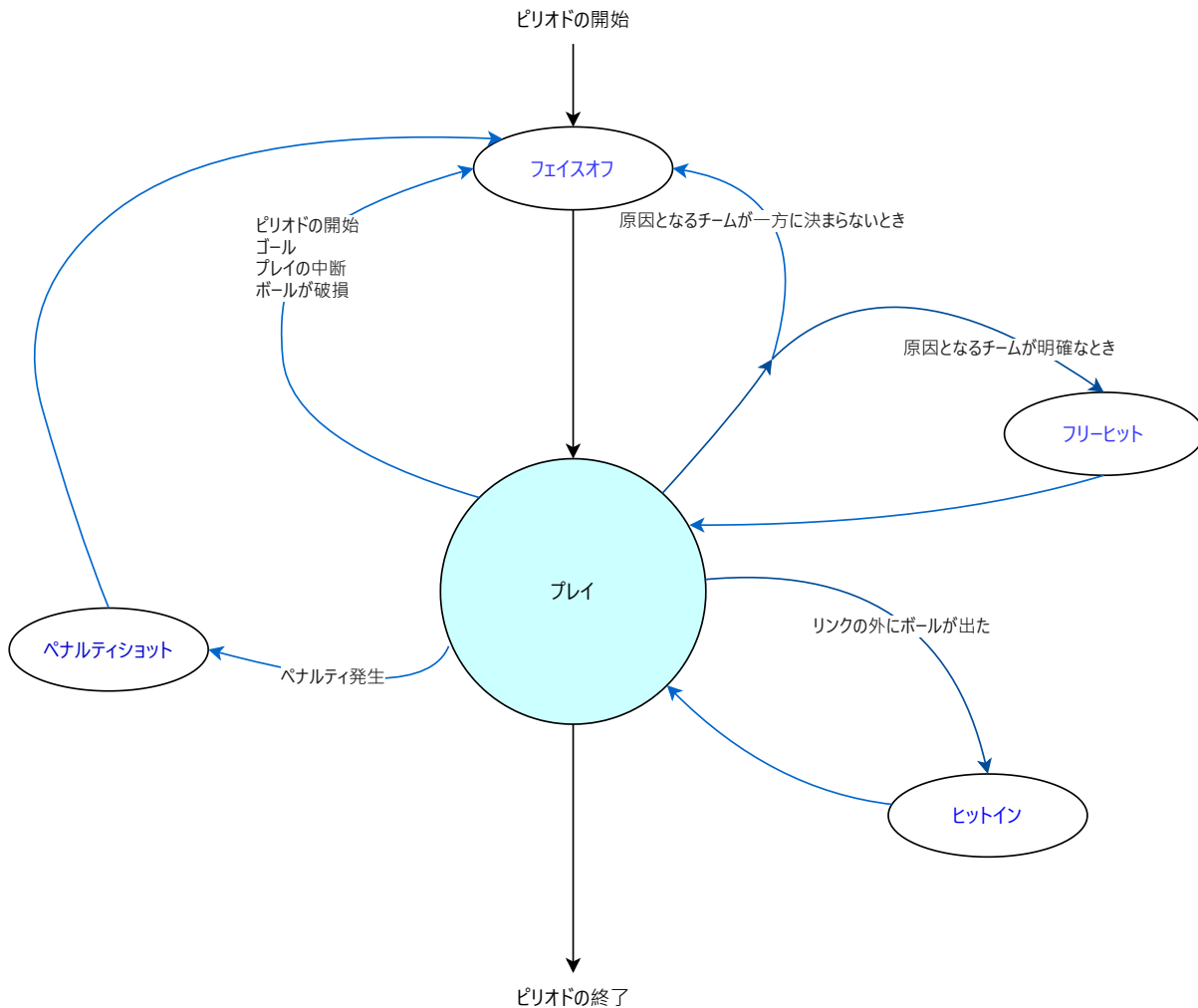
1. チーム競技種目

チーム種目	4人対4人	6人対6人	ユニファイド
リンク内人数 (ゴールキーパー含んで)	4人	6人	5人
登録人数 (柔軟対応)	10人	12人	10～12人
試合時間 (柔軟対応)	7～15分 x 3ピリオド 3分休憩	15～20分 x 3ピリオド 10分休憩	7分～15分 x 2ピリオド 5分休憩
レフリー	1名 / 2名	2名	1名

2. 「最初に覚える7つのルール」 千葉フロアボールクラブ から

- ハイスティック
スティックを腰より上に振り上げる.
- ヒット
相手のスティックをたたく.
- プッシング
相手を押したり、ぶつかる.
- スライディング
転んだ状態でプレイする.
- ハンド
手や腕を使ってボールを止める.
- ヘディング
手、腕、頭でボールを止める.
- ジャンプ
ジャンプしてボールを止める.

3. プレイが止まっている状態



- フェイスオフ
足はセンターラインに平行に置く。ブレードをボールの左右どちらに置くかは、点を取られた方（試合開始の時はアウェー側）が決める。
- フリーヒット
フリーヒットとなる反則を犯した場合、反則を犯していない側のチームが、反則があった場所からボールを固定し、一度だけヒットする。
- ヒットイン
ボールがリンク外に出た場合、ボールを出さなかった側のチームがボールを固定し、一度だけヒットする。
相手側の選手が位置に着くのを待つ必要はない(すぐにヒットして良い) (*1)
- ペナルティショット
センタースポットからスティックでゴール方向に持ち込みシュートする。ボールをセンター方向に戻すことはできない。戻した場合は最初からやり直しする。

4. 反則

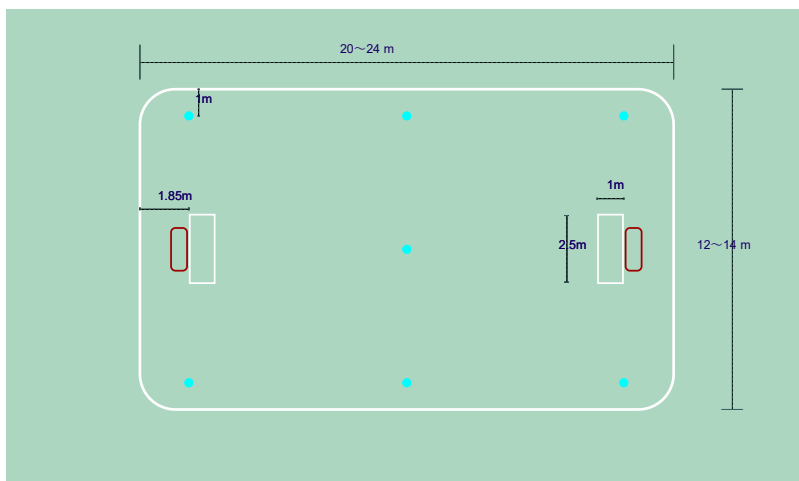
- フリーヒットになる反則
- 2分間のベンチ・ペナルティ
- 5分間のベンチ・ペナルティ
- マッチ・ペナルティ
- 10分間のパーソナル・ペナルティ

5. 反則の種類

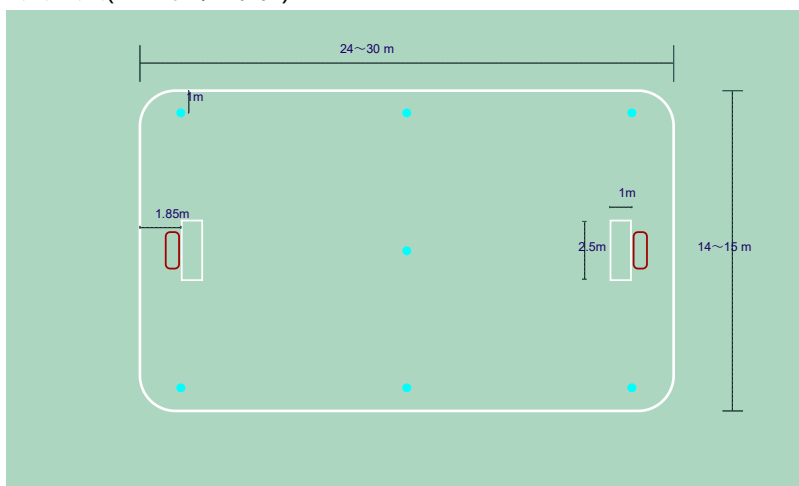
901	Hit	スティックをたたく
902	Locking	相手のスティックを押さえつける
903	Lifting	相手のスティックを持ち上げる
904	High stick	バックスイング、フォロースルーのスティックを腰より上に振る
905	Placing stick foot or leg	相手の両脚の間にスティック、足を入れる
906	Hooking	スティックを使って相手を引っかける
907	Pushing	相手を押す
908	Backing	後ろ向きで相手にぶつかる
909	Roughing	乱暴な行為をした
910	Holding	相手を押さえつける
911	Interference	ボールを保持していない選手に進行妨害をする
912	kick	2度続けてボールを蹴った
913	High kick	腰より高い位置のボールを蹴った
914	Entering the goalkeeper area	ゴールキーパー・エリアに侵入した
915	distance	3mルール違反
916	jump	フィールドプレイヤーがジャンプしてボールを止めた
917	throw-out	ゴールキーパーがセンターラインを越えてボールを投げた
918	hit-in/free-hit	不正なヒットイン 不正なフリーヒット フェイスオフを故意に遅らせた
919	Playing the ball lying down	転びながらプレイした
920	Hands	手や腕でボールを触れた
921	Header	頭でボールを触れた
922	Substitution	不正な選手交代
923	Repeated offences	反則を繰り返した
924	Delaying	プレイを遅延する ゴールキーパーが3秒以上ボールをコントロール下においた
925	Misconduct	スポーツマンらしくからぬ行為をした

6. リンクサイズ

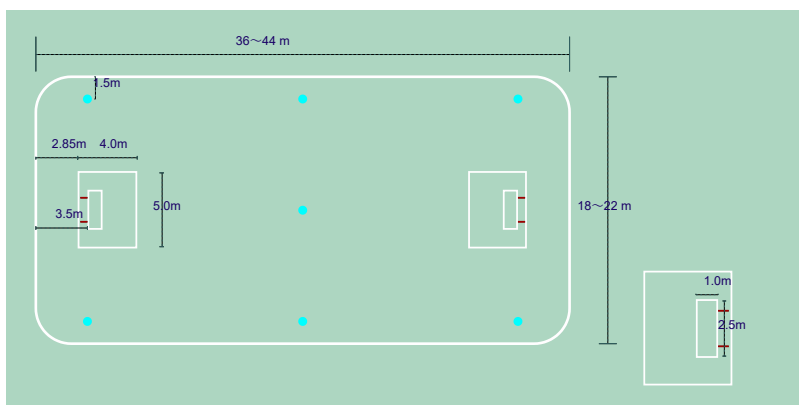
○ 4人x4人



○ 5人x5人(ユニファイド)



○ 6人x6人



7. リンク

- SON ルール
 - [フロアボール ルール 2020](#)
 - [Coaching Guide online 2014](#)
- YouTube
 - [千葉フロアボールクラブ 最初に覚える7つのルール](#)
 - [Floorball Drills - Salom](#)

*1 : 3mルール...ボールからスティックを含めて3メートル以上離れた位置につくこと